

# 市民団体アンケート調査結果

2020年11月

## 1-1 アンケート調査の概要

### (1) 調査の概要

#### 1) 調査の目的

本調査は、千葉市環境基本計画の策定にあたり、市民団体の環境保全に対する取組状況、環境保全活動・情報収集の現状や課題、基本目標の効果についての考えなどを明らかにし、計画検討に反映させるための基礎資料とすることを目的として行いました。

#### 2) 調査方法

WEB	千葉市または、ちば市民活動支援センターに登録のある環境保全活動を行っている団体の電子メールアドレスに送付。
-----	---

#### 3) 調査期間

WEB:令和2年9月下旬～10月

#### 4) 調査対象及び回収結果

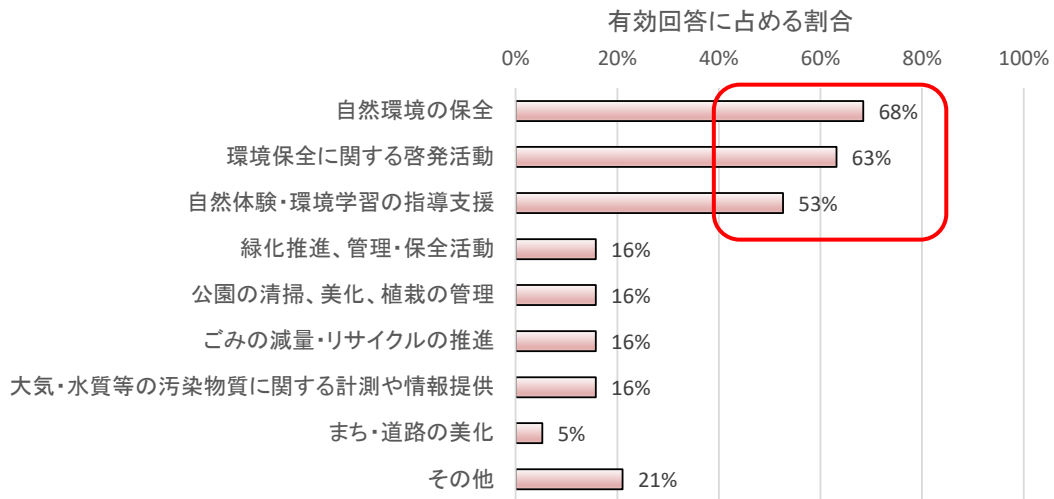
区分	調査対象者数	有効回収数	有効回収率
WEB	93 団体	19 団体	20.4%

※WEB 回答 3 団体、メール回答 16 団体

## (2) 回答いただいた団体の属性

### (i) 市民団体の目的

「自然環境の保全」が最も多く約7割、次いで「環境保全に関する啓発活動」、「自然体験・環境学習の指導支援」が続きます。また「その他」の目的では、調査、川辺の清掃美化活動、環境情報ネットワークなどが挙げられています。



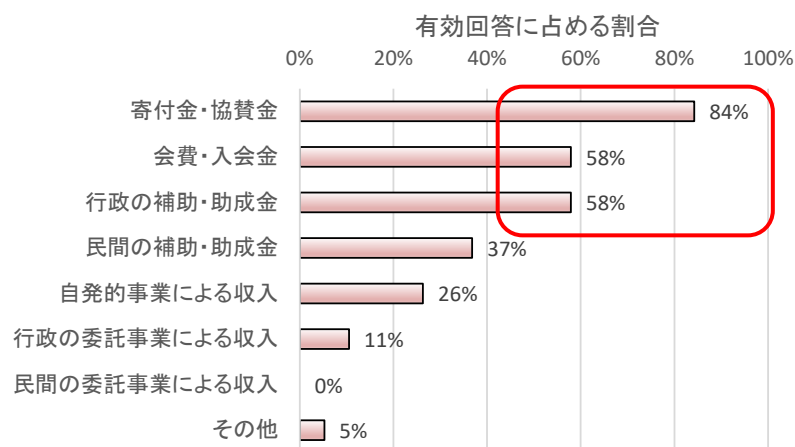
※多い順に掲載

### ■「その他」の内容

- ・ 保全のための調査。
- ・ 坂月川周辺の清掃・美化活動。
- ・ 環境教育・環境保全に関する学習の実践、環境情報ネットワークとしての機能。

### (ii) 市民団体の財源

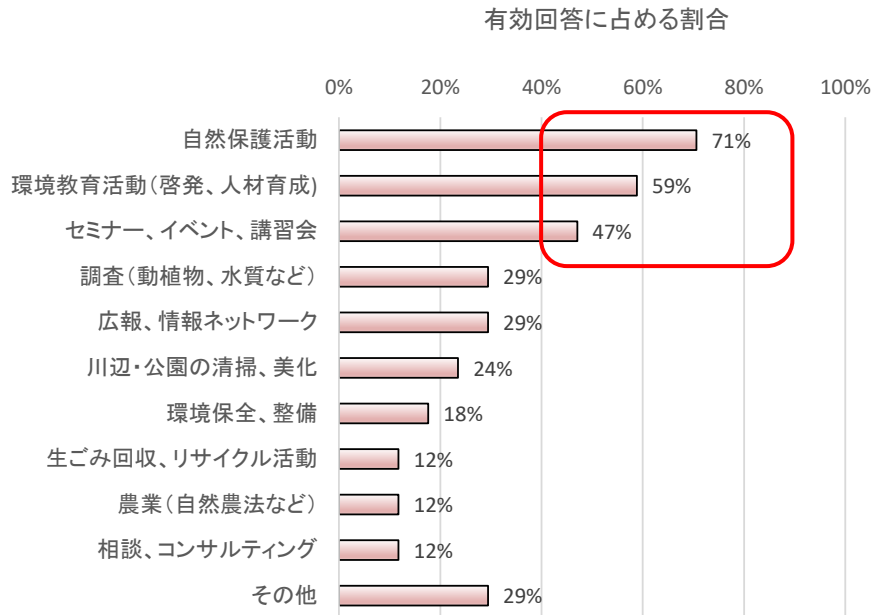
「寄付金・協賛金」が最も多く約8割、次いで「会費・入会金」と「行政の補助・助成金」が約6割と多くなりました。



※多い順に掲載

### (iii) 活動の内容

「自然保護活動」が約 7 割と最も多く、動植物や森林の保護を目的とした活動となっています。次いで「環境教育活動」が約 6 割と半数以上を占め、子供への体験学習や自然保護のための人材育成が中心となっています。次いで「セミナー、イベント、講習会」が約 5 割となり自然観察会や環境保全活動リーダーの育成など、市民向けの様々な活動を行っています。



※多い順に掲載

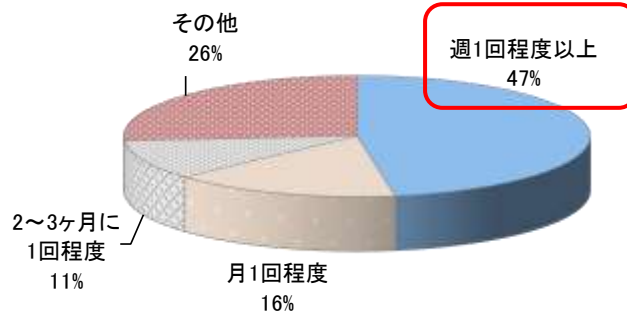
※各市民団体よりご記入頂いた活動内容を基に 11 項目に分類

#### ■「その他」の活動内容

- ・ 環境イベント事務局 ・ 執筆
- ・ 堆肥の販売 ・ 標本の作製 ・ 地球温暖化問題

#### (iv) 活動の頻度

約 5 割の市民団体が「週 1 回程度以上」活動しています。「その他」の内容をみると、ネットワークを利用するなど随時活動している市民団体もみられます。



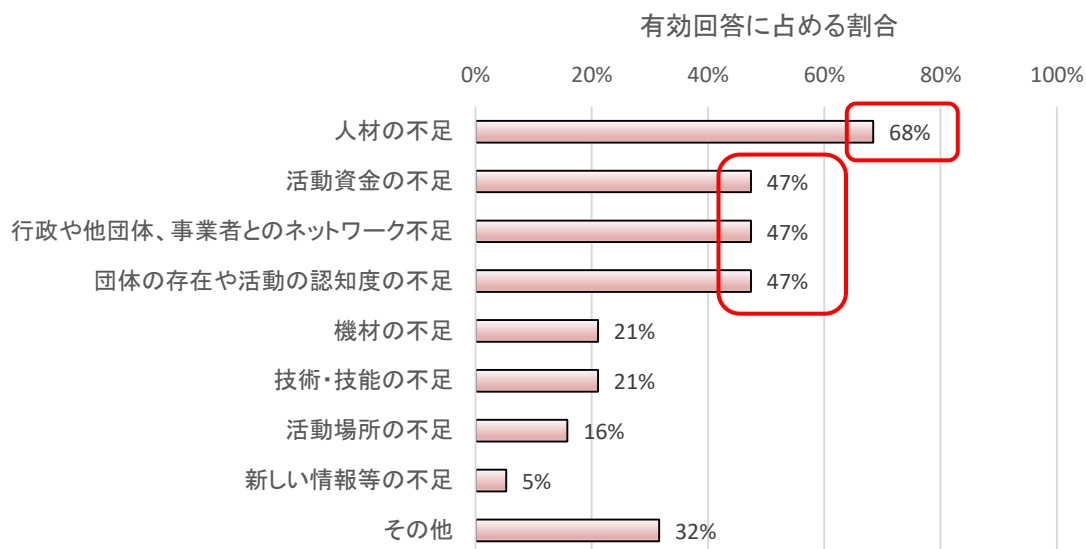
※多い順に掲載

#### ■「その他」の内容

- ・ 月 2 回程度
- ・ 月に 2~3 回程度
- ・ 打ち合わせと会議を随時開催。
- ・ 不定期(ただしオンライン等有。)
- ・ ネットワークでの個人活動が中心のため活動は様々。
- ・ 理事は週 1 回程度, 会員外を呼ぶ活動は1ヶ月に 1 回程度。

## (v) 活動上の課題

「人材の不足」が約7割と最も多くの市民団体が直面する課題となっています。次いで「活動資金の不足」「行政や他団体、事業者とのネットワーク不足」「団体の存在や活動の認知度の不足」が約5割を占め、資金のほか、他の団体や行政との情報共有や協働を求めていると考えられます。



※多い順に掲載

## ■「その他」の内容

- ・ 高齢化、フットワークが弱い。・ 無償ボランティアに依存している。
- ・ コロナ禍で活動が制限される。・ 電力や大気汚染など専門的内容の理解が難しい。
- ・ (粉じん被害の原因について) 事業者から十分な情報が得られていない。
- ・ 実態について委員が十分に理解できていない(環境審議会大気専門委員会)。

## 1-2 市民団体の環境意識調査結果

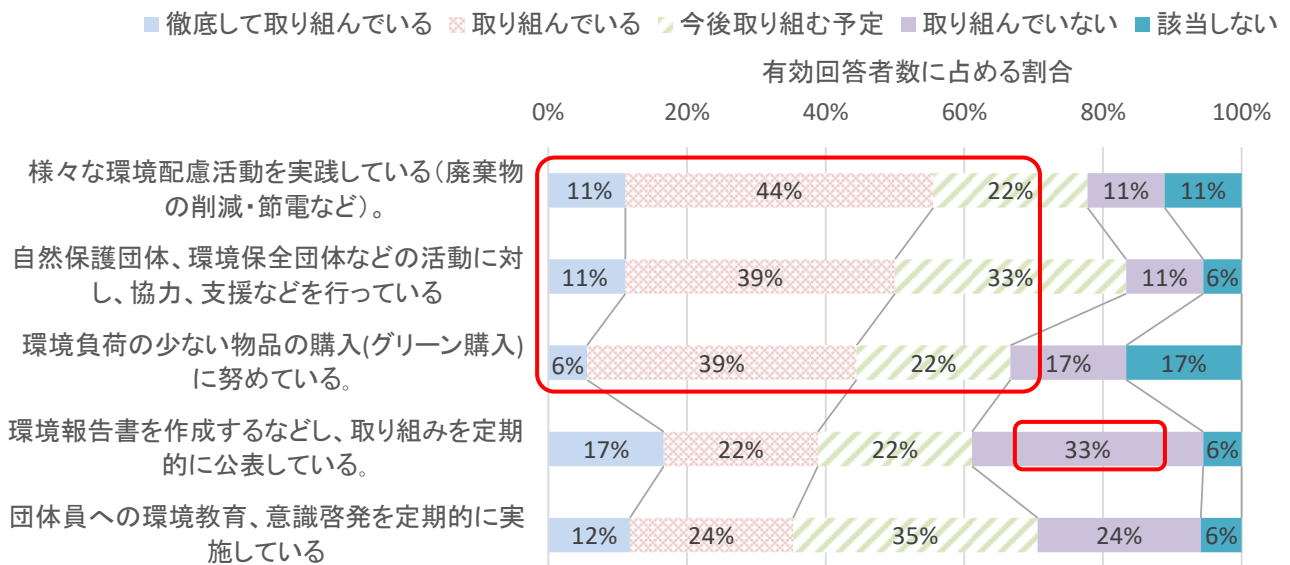
### 3 環境配慮行動の実施状況

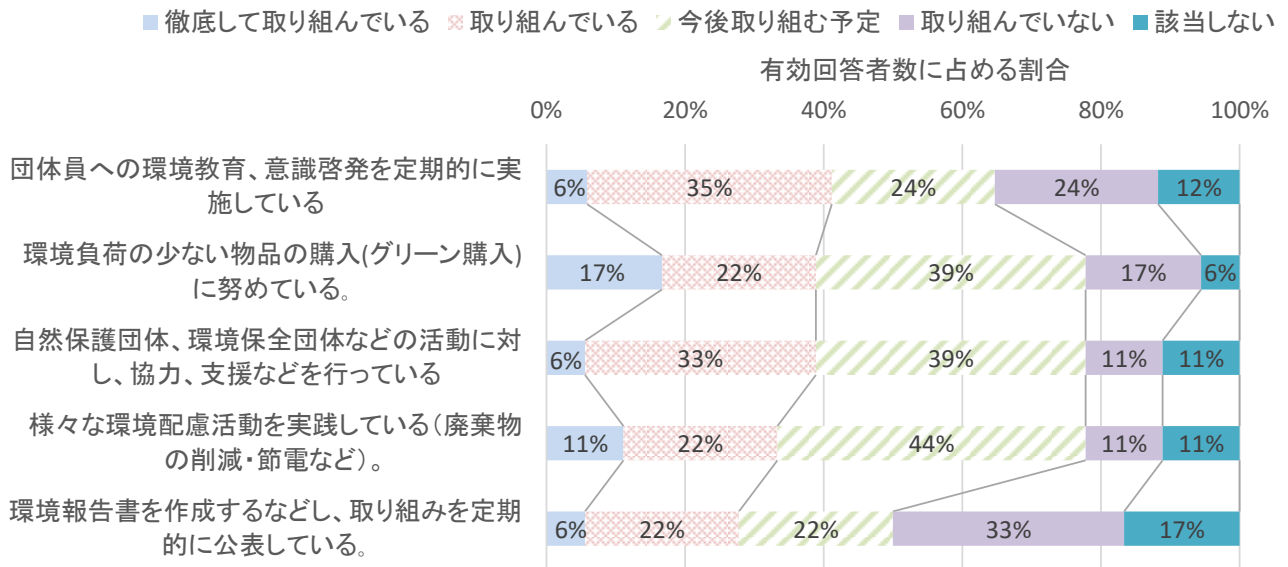
以下の活動に関する環境保全の各取り組みについて、貴団体の取組状況にあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。また、「その他に取り組んでいること」や「取り組まない理由」などがあれば教えてください。

【有効回答17～18団体、無回答・無効1～2団体】

#### <全体傾向>

- 「様々な環境配慮活動を実践している」「自然保護団体、環境保護団体などの活動に対し、協力、支援などを行っている」「環境負荷の少ない物品の購入(グリーン購入)に努めている」の設問では、「徹底して取り組んでいる」「取り組んでいる」の回答が4割を超え、「今後取り組む予定」を含めると7割近くとなることから、多くの市民団体が取組に意欲的であることが伺えます。
- 「環境報告書を作成するなどし、取り組みを定期的に公表している」の設問では、約3割が「取り組んでいない」と回答していることから、他取組と比較して今後導入の可能性が低い傾向にあります。
- 「取り組まない理由」については、財政、人手不足が挙げられ、1-1(2)(v)に記載されている活動上の課題と同様の傾向となっています。





※「徹底して取り組んでいる」「取り組んでいる」が高い順に掲載



## ■「その他に取り組んでいること」

- ・他団体とのパートナーシップを推進。
- ・石炭火力発電所の問題に取り組む団体と協力。
- ・森林整備による廃材は活動地区内で処分。

## ■「取り組まない理由」

- ・財政的、人的な余裕がないため、取組実施が困難。
- ・活動において物品購入の必要がない。
- ・活動の中で排出される廃棄物がほぼ無い。
- ・環境保全活動が主であり、特に(廃棄物、節電等)には関係しない。

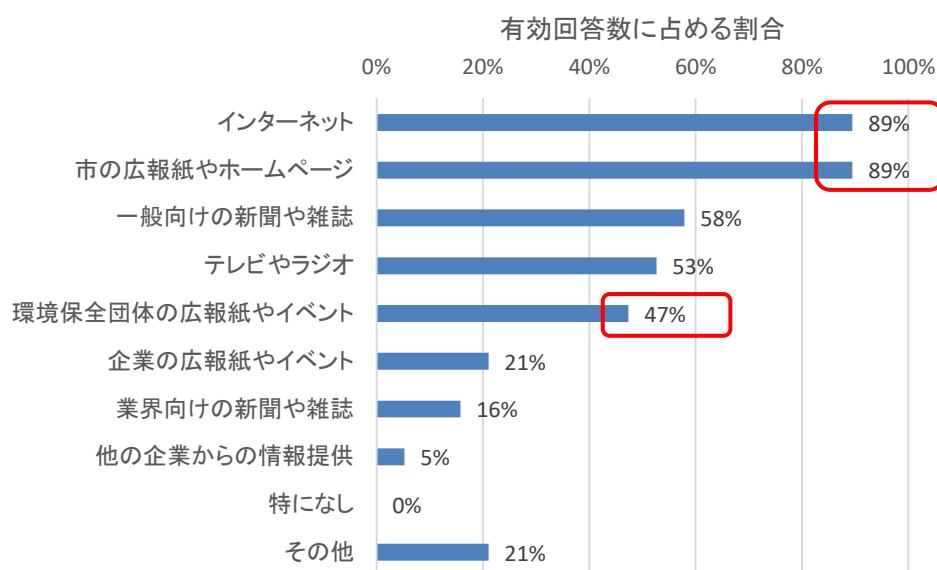
## 4-1 環境に関する情報の入手方法

貴団体は環境についての情報や知識（環境規制や助成制度の変更、市からのメッセージ）を、どこで入手していますか。以下の項目の中から、あてはまるものをすべて選んでください。

【有効回答19団体、無回答・無効0団体】

### <全体傾向>

- 「インターネット」「市の広報紙やホームページ」が最も多く約9割となりました。インターネットは市民の20代以下の若い世代において多く利用されており（市民アンケート問5-1）、若い世代と事業者同様、市民団体への情報提供にも有用な手段であることが伺えます。
- また、「インターネット」や「テレビやラジオ」などの汎用的手段に加え、「環境保全団体の広報誌やイベント」が半数近くを占めており、市民団体が他団体の活動にも注目していることがわかります。
- 「その他」を見ると、公共機関・団体などが公開している情報も入手していることがわかります。



※多い順に掲載

### ■「その他」の内容

- ・ 環境省など公共機関。
- ・ 知人からの情報提供。
- ・ 他のNGO・NPO団体。
- ・ 公共団体などからのメール。（千葉市民活動支援センター、千葉県環境財団、県立中央博物館など）

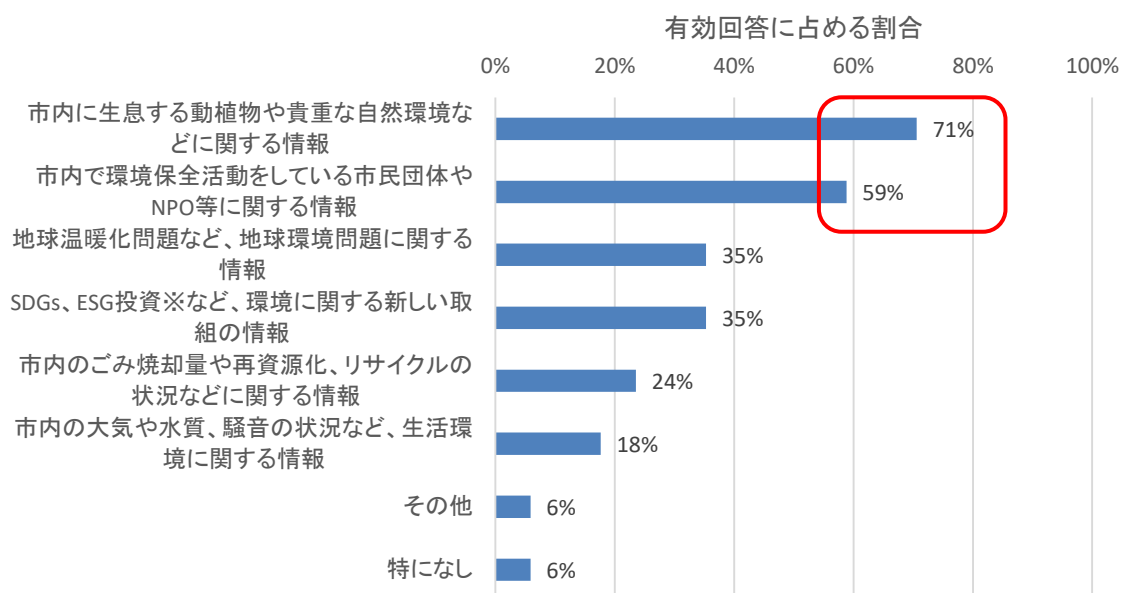
## 4-2 提供して欲しいと思う環境保全に関する情報

市のホームページや広報紙などにおいて、貴団体が提供・発信してほしいと思う環境保全に関する情報を3つまで選んでください。

【有効回答17団体、無回答・無効2団体】

### <全体傾向>

- 「市内に生息する動植物や貴重な自然環境などに関する情報など」が約7割、「市内で環境保全活動をしている市民団体やNPOに関する情報」が約6割と半数以上を占めています。
- 回答を頂いた市民団体の多くが自然保護や環境保全を目的としていることから、関心の高い分野となっています。



※多い順に掲載

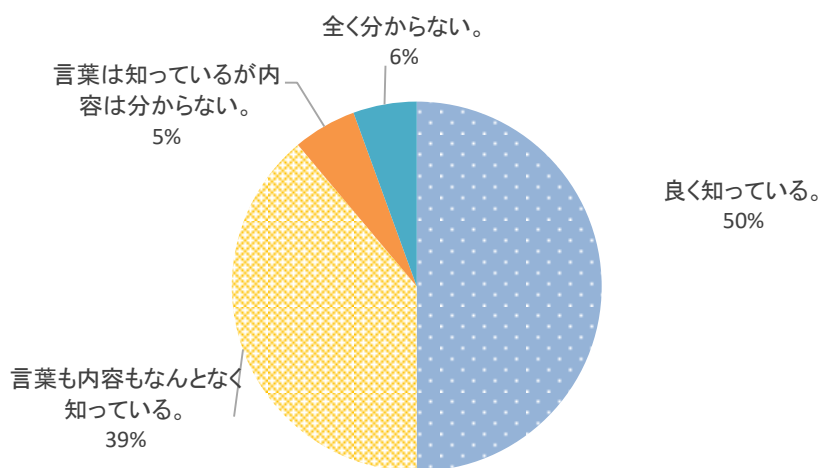
## 5-1 SDGs の認知度について

貴団体はSDGsを知っていますか。あてはまるものを選んでください。

【有効回答18団体、無回答・無効1団体】

### <全体傾向>

- 「よく知っている」「言葉も内容も何となく知っている」とした回答が約9割と過半数を占めている一方、約1割が「言葉は知っているが内容はわからない」「全く分からない」と回答しています。
- 市民団体においても、事業者と同様にSDGsに関する情報提供の余地があることがわかります。



※多い順に掲載

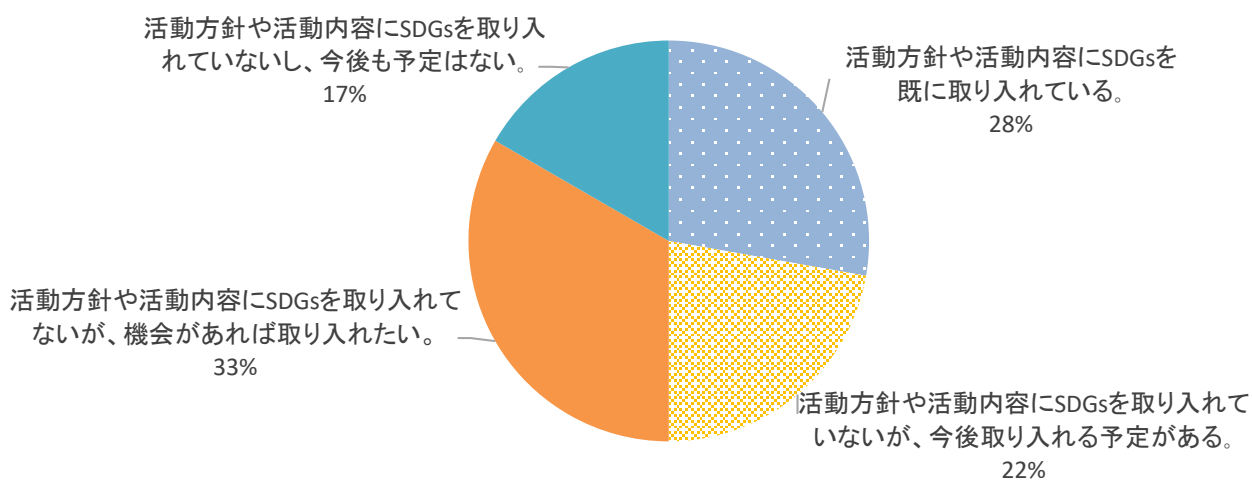
## 5-2 SDGs と活動内容の関係

貴団体の活動方針や活動内容に SDGs を取り入れていますか。あてはまるものを選んでください。

【有効回答18団体、無回答・無効1団体】

### <全体傾向>

- 「既に取り入れている」「今後取り入れる予定」が約 5 割となり、半数の市民団体が SDGs 導入に対し意欲的です。さらに約 3 割の市民団体が「機会があれば取り入れたい」と回答しており、前向きな姿勢を示しています。
- 一方、「今後も予定はない」と約 2 割の市民団体が回答しており、SDGs の知識有無とは関係がないことから、一部の市民団体は SDGs 導入に対し関心が低い傾向にあることが伺えます。



※取組・導入予定の状況の順に掲載

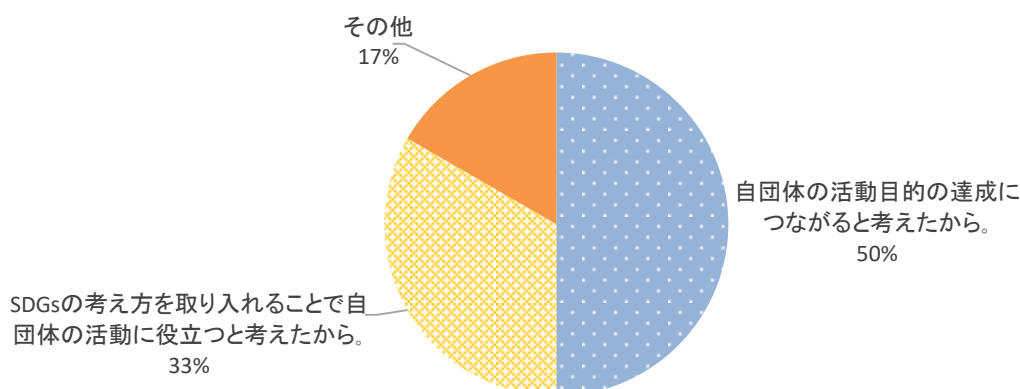
### 5-3 SDGs を取り入れる理由

5-2「活動方針や活動内容に SDGs を既に取り入れている」「活動方針や活動内容に SDGs を取り入れていないが、今後取り入れる予定がある」と回答した団体にお伺いします。活動方針や活動内容に SDGs を取り入れる理由は何ですか。あてはまるものを選んでください。また、SDGs に取り組む中で感じる課題があればお教えてください。

【有効回答6団体、無回答・無効13団体】

#### <全体傾向>

- 「自団体の活動目的の達成」が約 5 割、「自団体の活動に役立つ」が約 3 割となり、市民団体の活動内容と SDGs について強い関係性があることが確認できました。
- SDGs に取り組む中で感じる課題としては、費用、サポート体制、勉強の機会などが挙げられました。より多くの市民団体が継続的に SDGs の考えを取り入れた活動を実施できるよう支援する必要があります。



※多い順に掲載

#### ■SDGs に取り組む中で感じる課題（主な意見）

- ・費用、手間、公共施設・サポート体制の不足。
- ・SDGs について勉強できる機会。実際の活動事例の情報収集手段。
- ・自治体と連携して取り組む場合、話し合いが不可欠である。
- ・各団体の意識レベルの差を解消するために具体的な話し合いが必要。
- ・SDGs を活用できる場、チャンスを頂きたい。

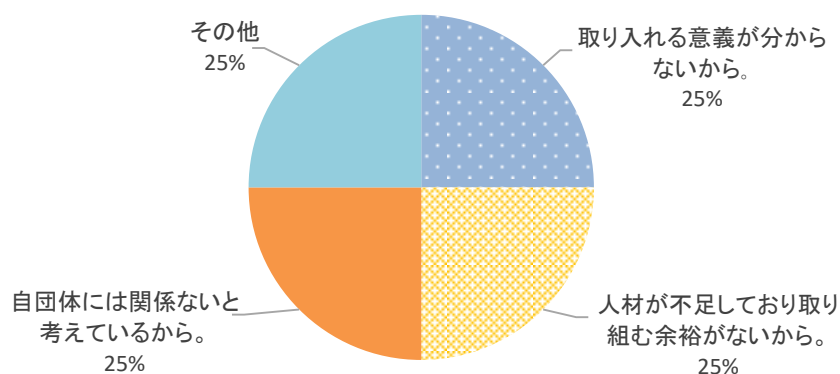
## 5-4 SDGs を取り入れない理由

5-2 で「活動方針や活動内容に SDGs を取り入れてないが、機会があれば取り入れたい」「活動方針や活動内容に SDGs を取り入れていないし、今後も予定はない」と回答した団体にお伺いします。活動方針や活動内容に SDGs を取り入れない理由は何ですか。あてはまるものを選んでください。また、SDGs に取り組むための課題があれば教えてください。

【有効回答4団体、無回答・無効15団体】

### <全体傾向>

- 「取り入れる意義がわからない」「人材が不足」「自治体には関係ないと考えている」「その他」において各1件の回答が得られています。
- SDGs に取り組むための課題として、市民の理解、活動につながらない、SDGs 導入の必要性がないなどが挙げられました。SDGs の有用性に関する情報を提供し、より多くの団体へ SDGs の考え方が導入されるように理解を促す必要があります。



※多い順に掲載

### ■SDGs に取り組むための課題

- ・市民の理解。
- ・活動、行動につなげにくい。
- ・SDGs が制定される前に発足しているため、SDGs を意識して活動していない。
- ・すでに会の目的に沿って十分活動しており、特に取り入れる必要を感じていない。
- ・活動において自然環境への負荷は小さいため、SDGs を取り入れる必要がない。

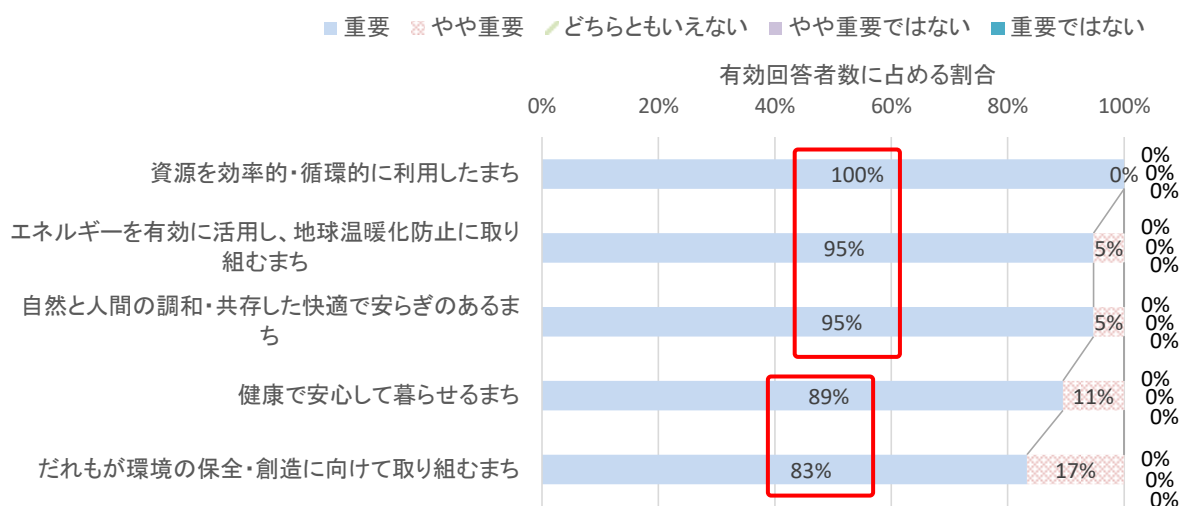
## 6 環境像について

千葉県環境基本計画では望ましい都市の姿『豊かな自然と生活環境を守り、育み、うるおいのある環境とともに生きるまちへ』の実現のために、5つの項目（環境像）を設定しています。それぞれの環境像の重要度をどのように考えますか。項目ごとに最も近い答えを1つずつ選び、番号を選択してください。

【有効回答18～19団体、無回答・無効0～1団体】

### <全体傾向>

- 全ての環境像に対し全ての市民団体が「重要」または「やや重要」と考えています
- 「資源を効率的・循環的に利用」「エネルギーを有効に活用」「自然人間の調和・共存」では9割以上の市民団体が「重要」と回答し、特に重要視されていることがわかります。



※重要の割合が高い順に掲載



## 7-1 行政の施策の評価

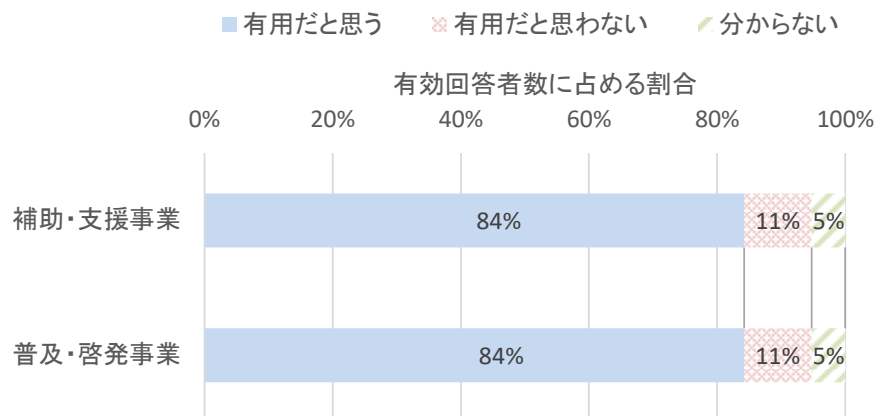
千葉市では環境保全対策を促進するために様々な施策を実施しています。下記に示す市の施策について、貴団体の環境保全対策の促進に有用だと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

また、「利用したことがある・知っている施策」や「その施策に対するご意見」などありましたら教えてください。

【有効回答19団体、無回答・無効0団体】

### <全体の傾向>

- 「普及・啓発事業」と「補助・支援事業」の両者に対し、全体の8割以上の市民団体が「有効だと思う」と回答しており、行政の施策が評価されていることがわかります。
- 「その施策に対するご意見」では、環境教育講座、地域環境保全自主活動事業補助、花見川区地域活性化支援事業などについて意見が寄せられました。



※有効だと思う割合が高い割合順に掲載

### ■ 「利用したことがある・知っている施策」 公民館等における環境教育講座

- ・ 地域環境保全自主活動事業補助
- ・ 生ごみ資源化アドバイザー派遣事業
- ・ 谷津田の自然体験教室
- ・ 千葉市政出前講座(収集業務課)
- ・ 自治会で2回/年、町内清掃。

## ■「その施策に対するご意見」

### 「環境教育講座」

- ・実施した親子向けの環境体験は、人材育成にもつながり有効。
- ・講師に対し、事前準備や交通費などの費用を支援して欲しい。
- ・年間開催回数や内容など、ホームページ等で公開して欲しい。

### 「地域環境保全自主活動事業補助」

- ・手続きの簡素化と、制約を少なくして欲しい。
- ・補助金の上限額を増やして欲しい。
- ・助成後の活動報告会を行ってはどうか。(市民活動団体全体のスキルアップにもつながるため)

### 「花見川区地域活性化支援事業」

- ・審査員の理解不足(ボランティア活動の課題、IT 活用の有用性などについて)が懸念される。

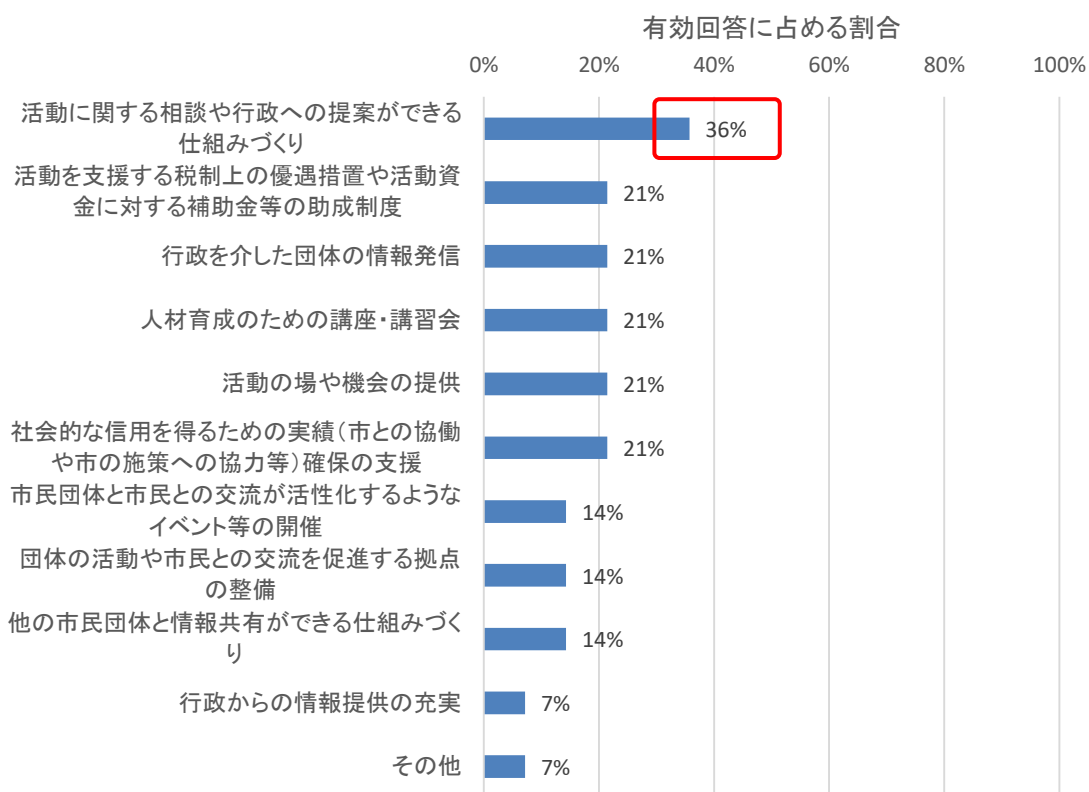
## 7-2 行政への要望

貴団体が活動を行う上で行政に求めるものについて、当てはまるものを2つまで選んでください。

【有効回答14団体、無回答・無効5団体】

### <全体の傾向>

- 「活動に関する相談や行政への提案ができる仕組みづくり」が最も多く約4割となっており、行政と市民団体の繋がり、協働の体制の構築などが求められています。



※多い順に掲載

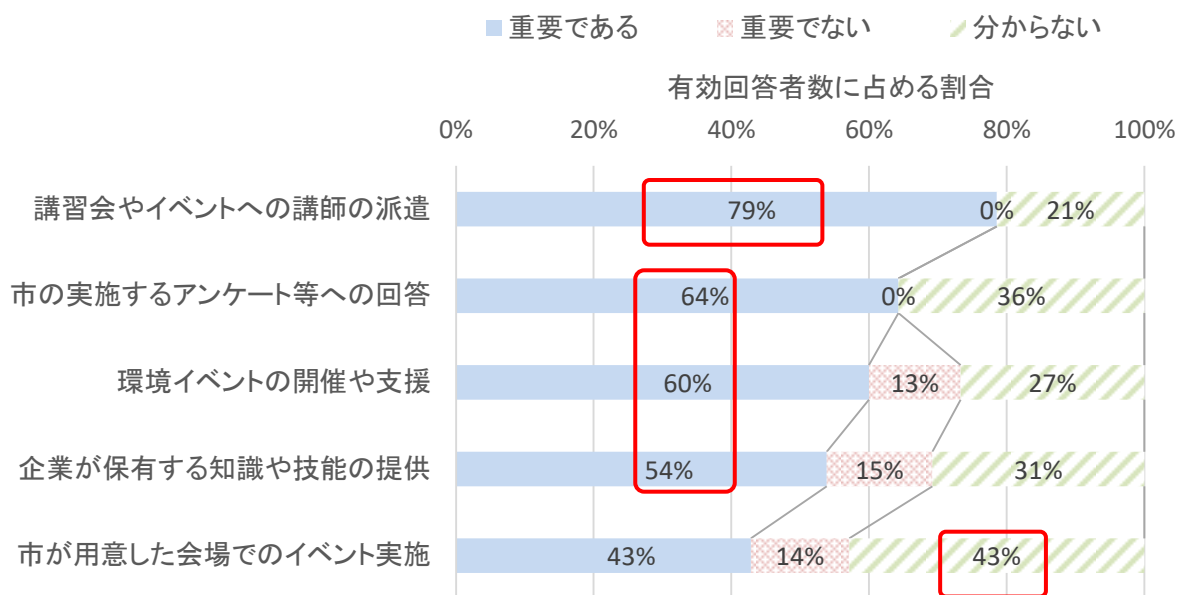
### 7-3 行政との協働

今後、千葉市と協働した活動を行う場合、どのような形で協力することが重要と思いますか。最も近い答えを1つ選び、番号を選択してください。また、他に重要だと思う案などがあれば、自由記述欄にご記入ください。

【有効回答13～15団体、無回答・無効4～6団体】

#### <全体の傾向>

- 「講習会やイベントへの講師の派遣」では約8割の市民団体が「重要である」と回答し、最も大きな割合を占めています。
- また、「市の実施するアンケート等への回答」「環境イベントの開催や支援」「企業が保有する知識や技能の提供」についても、半数以上が「重要である」と回答しています。
- 一方、「市が用意した会場でのイベント実施」では「分からない」と回答した約4割の市民団体については、イベント実施が想定できないため判断つかなかった可能性が考えられます。



※「重要である」の割合が高い順に掲載

## ■他に重要だと思う案（主な意見）

### 「市民への活動推進」

- ・市民の環境問題への意識や行動の推進。
- ・市民自ら進んで行動できる市民自治活動の推進。

### 「市民団体の活動への協力」

- ・他団体と意見交換の機会。
- ・行政からの市民団体への積極的な働きかけ。
- ・市が環境保全活動団体の具体的な活動の把握。
- ・市民団体が(市に頼らず)主体的に進められる配慮。
- ・市指定里山地区で主催する活動について、市政だよりに掲載して欲しい。
- ・講習会の参加者を集める際、市の広報等で募集する。

### 「市との体制」

- ・市が県と協働して県内市町村をリード。
- ・産官学市民が一緒に推進。
- ・市民と市民団体が主体的に関わっていく運営体制。
- ・市民と環境ボランティアの連携体制の構築。
- ・行政が、市民や地域へのコーディネーター的役目を担う。

### 「その他」

- ・イベント時の交流・協働にとどまらない、継続性のある活動。
- ・里山保全活動体験などにおいて、森林の現状や活動について紹介する。
- ・里地、里山を、環境教育、食育、農業、林業、観光など幅広い行政分野で活用。
- ・粉じん問題に対し、市民にアンケート調査をするなど実態を把握。

## 8-1 望ましい環境都市の姿について

10 年後、20 年後を見据えて、将来の千葉市の環境はどうなっていると思いますか・どうあってほしいですか。ご自由にご記入ください。

【有効回答 18 団体、無回答・無効 1 団体】

分類	市民団体のご意見
(a) エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化対策、環境保全・創造に積極的に取り組む。</li> <li>・市民が省エネ、再生可能エネルギーに関心をもつ。</li> <li>・工場、発電所からの CO<sub>2</sub> による気候変動の影響のない街。</li> <li>・地域でエネルギー削減や資源循環に協力する。</li> </ul>
(b) 資源を効率的・循環的に利用したまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が 3R(リデュース、リユース、リサイクル)に関心をもつ。</li> </ul>
(c) 自然と人間の調和・共存した快適で安らぎのあるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの市民が豊かな自然を楽しむ。</li> <li>・花と緑を味わいながら徒歩や自転車で過ごせる街。</li> <li>・分断された緑地が連結し生物多様性が実現し、生き物が行き交う環境。</li> <li>・豊かな自然(生態系)がこれ以上失われる事のない千葉市。 生態系は復元可能なティッピングポイント(臨界点)を超えてしまうと再生は難しいため、一人でも多くの市民が考える機会を得る。</li> <li>・人と生物が住みやすい都市。</li> <li>・住みやすさ・利便性と、豊かな自然環境が無理なく共存。</li> <li>・人と自然が調和した快適で安らぎのある風景。</li> <li>・自然と市民が共存し、他都市の手本となるような都市環境。</li> <li>・デジタル化が進んでも、人が自然環境の一部だと感じることができる環境都市。</li> <li>・市民が自然の中で生かされていることを自覚しつつ、相互に協力し暮らしている未来。</li> <li>・海、畑、雑木林、丘がある地域が東京沿線の方々の憩いの場になる。</li> <li>・臨海部製鉄工場の跡地において、人工海浜や森を造成する。</li> <li>・貴重な自然を子孫に伝える。</li> <li>・昔ながらの自然が保たれている場所の確保を未来に繋げる。</li> <li>・森林施業を通じて健全な森林を育成し、人類にとって望ましい地球環境を実現。</li> </ul>
(d) 健康で安心して暮らせるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・快適に暮らせる場所。</li> <li>・水と大気がきれいで、緑豊か。</li> </ul>
(e) だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史、近代的な街並みについて地域で話し合い、行政がサポート。</li> <li>・都市近郊に位置する農山村域との交流をもっと身近にする。</li> </ul>
(f) 全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉市の環境を維持発展させていく。</li> <li>・千葉市の現状を市民に発信する。</li> </ul>
(g) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様性が持続可能な街づくりにつながる。</li> <li>・大学生を有効活用し、支え合う、持続可能な地域にする。</li> <li>・住む皆が安心して、特に高齢者が生きがいをもって暮らせる町。</li> <li>・創造性があり多様な文化に寛容な街。</li> <li>・テレワークが増えたため、モノレール沿線上の自然豊かな地域で暮らす人を増やす。</li> <li>・海浜公園として近隣のスポーツ公園と商業施設が賑わう。</li> </ul>

## 8-1 望ましい環境都市の姿について

上記の未来の姿を実現するには何をすると考えますか。皆様のご意見をご記入ください。

【有効回答16団体、無回答・無効3団体】

分類	市民団体のご意見
(a) エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち	—
(b) 資源を効率的・循環的に利用したまち	・ 河川にゴミを捨てることのないようにする。
(c) 自然と人間の調和・共存した快適で安らぎのあるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民が自然に触れ、自然を感じられる場を保全。</li> <li>・ 手が届いていない森林に対し新たな森林管理システムを構築。</li> <li>・ 放置された耕作地への対策など、財源や人材を考えた最適な施策を検討。</li> <li>・ 自然にどこまで手を加えるのが良いのか考える。</li> <li>・ 山林における太陽光発電の設置により、動植物が住まいを追われるため対策が必要。</li> <li>・ 外来種を持ち込まれないような対策。</li> <li>・ 市民が身近な自然(動植物、田畑、海、里山など)を体験する。</li> <li>・ 農業、林業従事者にも自然保護の教育が必要。</li> <li>・ 森林環境税の森林整備における各課題への有効利用。</li> <li>・ 林業農業従事者が高齢化の中で、放棄田、森林荒廃への公的支援。</li> <li>・ 長期的な視点でグリーンインフラとして自然環境を捉え、持続的な利用を意識した施策。</li> </ul>
(d) 健康で安心して暮らせるまち	—
(e) だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園、小学校の子供たちへの自然教育の推進。</li> <li>・ 若い世代が自然に触れる、関心を持つ機会を増やす。</li> <li>・ 子供に自然に親しみ生き物とふれあう体験をさせて、自然とヒトとの共生を考える力を育む。</li> <li>・ 地球環境を未来世代に残していけるようその輪を広げる。</li> <li>・ 市民や団体の参加により、行政が協同して課題に取り組む。</li> <li>・ 行政・住民・事業者が情報共有を図り、一体となり環境保全対策などを推進。</li> <li>・ 子供たちの意見を取り入れるため、定期的な話し合い場を開催する。</li> <li>・ 行政とステークホルダーとの連携体制の構築。</li> <li>・ 多様な市民団体と行政、企業、学校などが連携。</li> <li>・ NPO、NGOなどの活動が活発化する様に、行政、民間が支援。</li> <li>・ 環境行政のコンセンサスを得て、財源も確保し具体策を実行する。</li> <li>・ 市民それぞれが、持続可能な社会作りが重要であると認識し、行動する。</li> <li>・ 地球の現状を直視し、個人が考え行動に移す。</li> <li>・ 目安箱的な自由な意見を反映できるような仕組み。</li> </ul>
(f) 全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SDGsの理念を活かした次期環境基本計画。</li> <li>・ 気候変動など環境変化に対し、市の総力を挙げて環境行政に取り組む。</li> </ul>
(g) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 千葉県から日本全国に発信できるような仕組み作りが必要。</li> <li>・ 千葉市の現状、ありのままを頻繁に発信する。</li> <li>・ 千葉市が良い環境であることを発信。</li> <li>・ 近年自然災害が増えているため、安全・安心な生活を送れるようにする。</li> <li>・ 市民が自然への関心を高めるためのソフトウェア整備、財政支援。</li> <li>・ 若者やクリエイターのためのコワーキングスペース、スタジオ、工房などを誘致。</li> </ul>

### 1-3 アンケート調査結果

市民の環境に対する意識や環境保全活動の取組状況については、基礎調査の結果と併せて、環境像、基本目標、指標及び施策の検討に反映します。

#### 【環境像の評価】

環境像については、「資源を効率的・循環的に利用したまち」、「エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち」、「自然と人間の調和・共存した快適で安らぎあるまち」、「健康で安心して暮らせるまち」、「だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち」の順に重要度が高くなりました。また、8割以上が重要・やや重要と回答しており、多くの市民団体が全ての環境像について重要であることを認識していることが伺えます。

#### 【キーワード、自由記述】

あってほしい未来の姿から抽出した環境像に関連する言葉の中で多かったのは特に緑や自然の豊かさやに関する内容でした。また、未来を連想させる子どもや、豊かなや住みやすいなど暮らしの質の向上を望むような言葉も多く抽出され、市民アンケートや事業所アンケートと同様の傾向となりました。望ましい環境都市の姿として、全ての分野で多くの意見をいただき、全ての分野で様々な取組が望まれていることが伺えます。

⇒環境像への評価や自由意見の内容を踏まえて、環境像や基本目標のフレーズに反映します。





貴団体の財源についてお尋ねします。該当する番号を選択してください。

No	項目
①	会費・入会金
②	寄付金・協賛金
③	行政の補助・助成金
④	民間の補助・助成金
⑤	自発的事業による収入
⑥	行政の委託事業による収入
⑦	民間の委託事業による収入
⑧	その他 ( )

### 2-1 活動の内容

現在の具体的な活動内容について記入してください。

### 2-2 活動の頻度

現在の活動の頻度について、該当する番号を1つだけ選んでください。

No	項目
①	週1回程度以上
②	月1回程度
③	2～3ヶ月に1回程度
④	半年に1回程度
⑤	年1回程度
⑥	年1回未満
⑦	その他 ( )

### 2-3 活動上の課題

貴団体が活動を行う上で感じている課題について、該当する番号をすべて選んでください。

No	項目
①	活動資金の不足
②	活動場所の不足
③	人材の不足
④	機材の不足
⑤	新しい情報等の不足
⑥	技術・技能の不足
⑦	行政や他団体、事業者とのネットワーク不足
⑧	団体の存在や活動の認知度の不足
⑨	その他 ( )

### 3 環境配慮行動の実施状況

以下の活動に関する環境保全の各取り組みについて、貴団体の取組状況にあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。また、「その他に取り組んでいること」や「取り組まない理由」などがあれば教えてください。

【環境配慮行動】	徹底して取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいない	今後取り組み予定	該当しない
1) 環境負荷の少ない物品の購入(グリーン購入)に努めている。	1	2	3	4	5
2) 環境報告書を作成するなどし、取り組みを定期的に公表している。	1	2	3	4	5
3) 様々な環境配慮活動を実践している(廃棄物の削減・節電など)。	1	2	3	4	5
4) 団体員への環境教育、意識啓発を定期的に実施している	1	2	3	4	5
5) 自然保護団体、環境保全団体などの活動に対し、協力、支援などを行っている	1	2	3	4	5
【その他の取り組み 取り組まない理由など】					

#### 4-1 環境に関する情報の入手方法

貴団体は環境についての情報や知識(環境規制や助成制度の変更、市からのメッセージ)を、どこで入手していますか。以下の項目の中から、あてはまるものをすべて選んでください。

1	テレビやラジオ	
2	一般向けの新聞や雑誌	
3	業界向けの新聞や雑誌	
4	インターネット	
5	市の広報紙やホームページ	
6	環境保全団体の広報紙やイベント	
7	企業の広報紙やイベント	
8	他の企業からの情報提供	
9	その他(具体的に	)
10	特になし	

#### 4-2 提供して欲しいと思う環境保全に関する情報

市のホームページや広報紙などにおいて、貴団体が提供・発信してほしいと思う環境保全に関する情報を3つまで選んでください。

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 1 地球温暖化問題など、地球環境問題に関する情報         |   |
| 2 市内のごみ焼却量や再資源化、リサイクルの状況などに関する情報 |   |
| 3 市内に生息する動植物や貴重な自然環境などに関する情報     |   |
| 4 市内の空気や水質、騒音の状況など、生活環境に関する情報    |   |
| 5 市内で環境保全活動をしている市民団体やNPO等に関する情報  |   |
| 6 SDGs、ESG投資※など、環境に関する新しい取組の情報   |   |
| 7 その他（具体的に                       | ） |
| 8 特になし                           |   |

※SDGs：持続可能な開発目標の略称で、2030年を年限とする17の国際目標を定めたもの  
ESG投資：環境（Environment）・社会（Social）・ガバナンス（Governance）要素も考慮した投資

#### 5-1 SDGsの認知度について

貴団体はSDGsを知っていますか。あてはまるものを選んでください。

- |                      |
|----------------------|
| 1 良く知っている。           |
| 2 言葉も内容もなんとなく知っている。  |
| 3 言葉は知っているが内容は分からない。 |
| 4 全く分からない。           |

#### 5-2 SDGsと活動内容の関係

貴団体の活動方針や活動内容にSDGsを取り入れていますか。あてはまるものを選んでください。

- |  |
|--|
| 1 活動方針や活動内容にSDGsを既に取り入れている。              |
| 2 活動方針や活動内容にSDGsを取り入れていないが、今後取り入れる予定がある。 |
| 3 活動方針や活動内容にSDGsを取り入れていないが、機会があれば取り入れたい。 |
| 4 活動方針や活動内容にSDGsを取り入れていないし、今後も予定はない。     |

### 5-3 SDGs を取り入れる理由

5-2「活動方針や活動内容に SDGs を既に取り入れている」「活動方針や活動内容に SDGs を取り入れていないが、今後取り入れる予定がある」と回答した団体にお伺いします。活動方針や活動内容に SDGs を取り入れる理由は何ですか。あてはまるものを選んでください。また、SDGs に取り組む中で感じる課題があればお教えてください。

1 自団体の活動目的の達成につながると考えたから。
2 SDGs の考え方を取り入れることで自団体の活動に役立つと考えたから。
3 市内で活動する団体の責任として重要だと考えたから。
4 リスク対策のために重要だと考えたから。
5 活動に関わる企業や市民からの要請があり対応せざるを得ないから。
6 その他 ( )
<b>【SDGs に取り組む際の課題】</b>

### 5-4 SDGs を取り入れない理由

5-2で「活動方針や活動内容に SDGs を取り入れてないが、機会があれば取り入れたい」「活動方針や活動内容に SDGs を取り入れていないし、今後も予定はない」と回答した団体にお伺いします。活動方針や活動内容に SDGs を取り入れない理由は何ですか。あてはまるものを選んでください。また、SDGs に取り組むための課題があればお教えてください。

1 何から取り組んでいいかわからないから。
2 取り入れる意義がわからないから。
3 自団体の活動の活性化につながらないと考えるから。
4 人材が不足しており取り組む余裕がないから。
5 資金が不足しており取り組む余裕がないから。
6 自団体には関係ないと考えているから。
7 その他 ( )
<b>【SDGs に取り組むための課題】</b>

## 6 環境像について

千葉市環境基本計画では望ましい都市の姿『豊かな自然と生活環境を守り、育み、うるおいのある環境とともに生きるまちへ』の実現のために、5つの項目（環境像）を設定しています。それぞれの環境像の重要度をどのように考えますか。項目ごとに最も近い答えを1つずつ選び、番号を選択してください。

項目【環境像】	重要	やや重要	どちらともいえない	やや重要ではない	重要ではない
①エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち	1	2	3	4	5
②資源を効率的・循環的に利用したまち	1	2	3	4	5
③自然と人間の調和・共存した快適で安らぎのあるまち	1	2	3	4	5
④健康で安心して暮らせるまち	1	2	3	4	5
⑤だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち	1	2	3	4	5

## 7-1 行政の施策の評価

千葉市では環境保全対策を促進するために様々な施策を実施しています。下記に示す市の施策について、貴団体の環境保全対策の促進に有用だと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

また、「利用したことがある・知っている施策」や「その施策に対するご意見」などありましたら教えてください。

項目【施策】	有用だと思う	有用だと思わない	分からない
①補助・支援事業 【例：地域環境保全自主活動事業補助、ボランティア清掃支援】	1	2	3
②普及・啓発事業 【例：公民館等における環境教育講座、生ごみ資源化アドバイザー派遣事業】	1	2	3
【利用したことがある施策・知っている施策】			

## 7-2 行政への要望

貴団体が活動を行う上で行政に求めるものについて、当てはまるものを2つまで選んでください。

No	項目
①	活動を支援する税制上の優遇措置や活動資金に対する補助金等の助成制度
②	市民団体と市民との交流が活性化するようなイベント等の開催
③	行政を介した団体の情報発信
④	団体の活動や市民との交流を促進する拠点の整備
⑤	人材育成のための講座・講習会
⑥	行政からの情報提供の充実
⑦	他の市民団体と情報共有ができる仕組みづくり
⑧	活動に関する相談や行政への提案ができる仕組みづくり
⑨	活動の場や機会の提供
⑩	社会的な信用を得るための実績（市との協働や市の施策への協力等）確保の支援
⑪	その他

※「地域環境保全自主活動事業補助金地域に根ざした自主的な環境保全活動を行う団体に対し、その経費の一部を補助制度」

## 7-3 行政との協働

今後、千葉市と協働した活動を行う場合、どのような形で協力することが重要と思いますか。最も近い答えを1つ選び、番号を選択してください。また、他に重要だと思う案などがあれば、自由記述欄にご記入ください。

No	項目	重要である	重要でない	分からない
①	環境イベントの開催や支援	1	2	3
②	市が用意した会場でのイベント実施	1	2	3
③	講習会やイベントへの講師の派遣	1	2	3
④	企業が保有する知識や技能の提供	1	2	3
⑤	市の実施するアンケート等への回答	1	2	3
【自由記述欄】				

8-1 望ましい環境都市の姿について

10年後、20年後を見据えて、将来の千葉市の環境はどうなっていると思いますか・どうあってほしいですか。ご自由にご記入ください。



【参考】現行計画（2011年策定）が目指すイメージ

【あって欲しい未来の姿やその理由など】

上記の未来の姿を実現するには何をすると必要かと思えますか。皆様のご意見をご記入ください。

【未来の姿を実現するために必要なこと】